

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズベースシーズ			
○保護者評価実施期間	2026年1月7日 ～ 2026年1月23日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年1月22日 ～ 2026年1月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己決定ができ、自立を促すことにつなげていくスケジュールの実施	登園後すぐの自由時間（すっきりタイム）内で、宿題、自由遊び、おやつ順番をお子さんご自身で考えて決めてもらっています。また、パソコン活動では、ぬりえやタイピングの中から自分の興味や気持ちに合わせて選択してもらっています。日々の活動の中で自分で選び、自分で組み立てて取り組む経験を重ねることで主体性や自己決定の力を育ていけるように支援しています。	自己決定しやすい環境づくりや関わり方を工夫しながら、日々の中で選択の機会を増やしていき「自分で決めて取り組めた」という経験を積み重ねられるよう、より丁寧な支援をおこなっていききたいと思います。
2	視覚支援の充実(見える化)	・日々のスケジュールや時間の流れ、活動の手順を分かりやすく提示し、お子さんが自ら確認しながら見通しをもって次の行動へ移ることができるよう支援しています。 ・気持ちの指標を活用し、その日の気持ちを視覚的に捉えながら、自分の思いを安心して表出できるようにしています。	今後も継続して取り組みながら、お子さんひとり一人により適した視覚支援の在り方を検討していききたいと思います。職員間でも丁寧に情報共有や話し合いを重ね、より良い支援につなげていきたいと思います。
3	専門性を高め、支援の質の向上を図るために、大学の先生による勉強会や研修を実施	定期的に大学の先生にお越しいただき、発達に関する勉強会、お子さまへの対応の仕方のアドバイス、虐待防止、身体拘束適正化他、研修をしていただいています	保護者の方への周知をおこなっていただけたらと思っています。先生に保護者の方が直接、相談をできる機会等を設けていきたいと思います。
4	グループ事業所のシーズ今津（就労移行支援・就労継続支援B型）との連携	お子さんの経験の幅を広げたり、学校卒業後の就労体験の1つとして、夏休み等の長期休暇にシーズ今津でクッキー作り体験や販売の体験を実施してもらっています	中学生、高校生の利用者さんが事業所で仕事をする体験の機会等も積極的に設けていけたらと思っています。
5	ストラテジーシートを用いたケース会議の実施	ケース会議の中でストラテジーシートを活用し、お子さんの気になる行動についてその背景や要因を整理しながら具体的な支援方法や環境面での工夫を検討しています。シートの項目に沿って話し合うことで対応方法を明確にし、スタッフ間で共通認識を持った一貫した支援につなげていけるようにしています。	定期的に振り返りもしっかりおこない、よりよい支援をおこなっていけるようにしたいと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への子育てに関する助言 他機関、他事業所等との連携	事業所内ではお子さんの様子について情報共有を行い、対応方法についても話し合いを重ねています。保護者への具体的な助言や、併行利用事業所など他機関との連携・情報共有については、十分に行き届いていない部分があります。特にお子さんが利用している併行利用事業所との連携が十分に図れていないことが課題となっています。	保護者により丁寧な助言が行えるよう、発達に関する研修の充実を図りたいと思います。また、学校や併行利用事業所等との連携を深め、こまめな連絡による情報共有等を行いつつ支援の一貫性を大切にしていきたいと思います。
2	避難訓練の周知	避難訓練の事前周知や訓練後の報告について、保護者への情報共有が十分でない部分があり、改善の必要性を感じています。また、事業所以外の避難先や避難の判断タイミングについても、より分かりやすく周知していく必要があると感じています。	お便りで事前に周知。訓練後は口頭、または公式LINE等で訓練の報告をおこないます。

3	ヒヤリハットの共有	日々の打ち合わせ等で、口頭での情報共有が中心になっており、ヒヤリハット用紙への記入が不十分になっています。	現在の様式の見直し等も行い、職員が記入しやすい方法を見つけていき、より丁寧に情報共有を行っていきたいと思います。また記入して終わりにするのではなく、再発防止に向けた前向きな話合いの機会を積極的に設けていきたいと思います。
---	-----------	---	--